



令和3年度 No. 14



「手」

手本を見せ、手間をかけ、肩に手をやり、手を叩いてほめてくださいました。

(2021.06.29 家庭科ボランティアさんとの授業)

『風の吹き返し』（当世北条小事情）

『目をかけ、手をかけ、声をかけ』-ぶらり、授業拝見④ 5年家庭科-

5年生の家庭科では今、手縫いの基本を学習しています。6月24日(木)、「玉結び・玉留め」の授業、7月6日(火)には「返し縫い」の授業にそれぞれ6名ずつのボランティアさんとCSコーディネーターの荒木先生が入ってくださいました。今年度からコミュニティ・スクールとして地域との連携を強めようとしている動きの一環です。

贅沢なことにグループにお一人ずつついでいただきましたから、本当に一人ずつ、教えていただけます。わからなかったりうまくいかなかったりすることがあっても、すぐに聞けるという安心感の中で子どもたちはチャレンジする積極性を見せています。こういう授業で人手があるのは本当に有り難いことだと思いながら、様子を見ていました。

やがて聞こえてくる「できた!」という子どもたちの声。すかさず、ボランティアさんの「すごいね〜」という言葉が後を追いかけてきます。こちらでは、ボランティアさんが子どもの肩に手をやり、「がんばったね〜」。あちらでは、手を叩きながら「完璧だよ」。そして自然と子どもたちの口から出る言葉は「ありがとうございます」。

目をかけ、手をかけ、声をかけ。ボランティアさんに作っていただいたのはスムーズな授業の流れだけではありません。人を育むあたたかく優しい雰囲気でした。



手をたたき



手を肩にやり

GIGA²@北条小③ 3年理科「こん虫のかんさつ」

iPadの基本的な機能の中に「マークアップ」という機能があります。これを使うと、写真に書き込みをしたり、ぬりえをしたりできるというものです。お絵かきやぬりえは紙の上でも低学年からおなじみですので、タブレット活用の入門編としてよく使います。たかがぬりえという無かれ、この日は理科の「こん虫のかんさつ」で、いろいろな虫の体のつくりや足の数などを確認するのにこの「マークアップ」が活躍しました。iPad上の虫の写真を頭、胸、腹にぬり分けたり、足の本数を数えたりしながら、その特徴を観察します。写真を拡大すれば細かいところも見えますし、何度だってやり直しができるのはICT活用の利点ですから試行錯誤にもってこいです。気づいたことはそのまま写真に書き込みました。できあがったものはそのまま大型モニターに映してもらってみんなの前で発表です。

この授業、紙に書いたモデル図を印刷して配布しても同じようなことはできそうですが、今回はICT活用だったからこそ、子どもたちが捕ってきた虫の写真をもとに教材をつくることができました。結果として、主体性を高める生きた教材となったことが今回のICTの一番の手柄だったような気がします。



ICTを活用する3年生

ハとハハの話

朝、各教室を回っていると1年生が「歯がぐらぐらしてきた〜。」と教えてくれました。それを聞いていた別の子は「私はいっぱい抜けちゃった〜。」と口を開けて見せてくれます。あれあれお年頃、乳歯が永久歯に生え替わる真っ最中です。みんな、ちゃんと生え替わるといいね。

私の場合、大人になっても何のつもりか1本だけ生え替わりもせず、居座る乳歯がありました。さすがに数年前に治療しましたが、50代半ばまでずっとです。よくがんばりましたと言いたいところですが、下の前歯の真ん中、一番目立つところでしたので、時々運命を恨んでみたりもしました。おまけに上の前歯は部活での接触プレーですれていましたし、他にもむし歯の治療後は数知れず、無傷の歯を探す方が難しいくらいです。

歯医者さんに通うたび「もっと小さいころから大切にしておけばよかったなあ」と反省こそしましたが、己の不徳の至り、しょうがないとあきらめれば、そんなに気にするほど繊細な神経を持ち合わせているわけでもありません。

ところが、ある日夕飯の食卓でそんな話をしていると、おふくろが残念そうにぼつりと言った言葉が意外でした。

「お前にはほんにええ歯をようやらなんだなあ…。」

どうやら母親というのは我が子を自分の分身のように思うものようです。



1年生が歯を見せてくれました

7月の「ほけんだより」でもお知らせしましたが、6年生の小矢野祥大さんが、「よい歯のコンクール」で中部地区小学生の男子代表として県大会に出場しました。すばらしいですね。

一方で、これも「ほけんだより」でお知らせしていますが、歯科検診の結果、北条小学校では今年度もむし歯のある児童が多くみられ、「治療していないむし歯がある人」は全校の39%でした。全国では21.7%とむし歯は減少傾向にあるなか、本校ではむし歯の減少がみられていません。他の検診結果もお伝えしていますので、夏休みをこれらの治療のため有効に活用してほしいと思っています。